（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（松本地域）

令和７年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	スカイロード　毎ラン３６５
事業主体 （連絡先）	春ランユナイテッド 春ランユナイテッド （0263）32―5539
事業区分	（３）教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	5,005,000 円（うち支援金：3,721,000 円）

事 業 内 容

１．信州スカイパーク　ランニングコース　スカイロード１０　走行距離目安看板の設置

設置時期：2025 年７月～2026 年２月末
設置場所：ランニングステーションから直近のスカイロード１０（走路）にかかる場所にスタート（０㌔）地点看板を設置、また各１㌔ごと計９台設置

２．ランニング普及啓発動画の制作・紙面展開

・走行距離目安看板に QR コードを配置→動画配信へ誘導
また園内の主要施設などにチラシ設置、同じく QR コードを配置しトレーニング動画配信へ誘導
・動画制作には、参加者にモニターや読者モデル的感覚で登場を依頼し盛り上げていく。
・随時契約媒体で動画コンテンツを記事化し、連動での情報発信した。
・動画の概要欄などハッシュタグを明記し、拡散できるよう努力した。
・別スポーツとの共催を計画したが、予算面などで折り合いがつかず見送った。

３．春の松本ランニングフェスティバル及び派生ランニングイベントとの連携

（１）「平日ナイターランニング」２回（８・９月）
時期：2025 年８月６日、2025 年９月３日（２回とも 18 時 30 分スタート）
場所：信州スカイパーク　ランニングステーション
（２）「走り収め！歳末ランニング」
時期：2025 年 12 月 28 日（午前９時スタート）
場所：信州スカイパーク　やまびこドーム

【動画の一部】2025.12.19

【目標・ねらい】

信州スカイパークを拠点としたランニング文化醸成による健康促進として毎日ランニング＝（毎ラン）ができる環境を整備し、発信することで健康長寿社会の推進を図りたい。

事 業 効 果

１．走行距離目安看板の設置

・ランニングステーション利用者数（2025.07-2026.03※９ヶ月間）
3,209 人（前年利用者数 2,589 人）
※信州スカイパーク公園指定管理者 TOY BOX より
前年利用者数から大幅に増加したことからもなによりも良い結果を残した。

２．ランニング普及啓発動画の制作・紙面展開

・動画７コンテンツ１１本（1 万再生）
・連動新聞紙紙面特集６回（約 60 万部）

３．春の松本ランニングフェスティバル及び派生ランニングイベントとの連携

（１）「平日ナイターランニング」　２回（８・９月）
2025/8/6　参加者数 15 人
2025/9/3　参加者数 12 人
（２）「走り収め！歳末ランニング」
2025/12/28　参加者数 75 人

※自己評価【　B　】

【理由】
動画再生回数が伸び悩んだが、3 年を通じ、距離看板は、信州スカイパークでランニングやウオーキングを利用者に定着化できた。動画と連動させ紙面特集でバックアップさせたことから、園内来場者・ランニングステーション利用者増加へとつなげられた。
やまびこドームをメイン会場とする母体大会の春の松本ランニングフェスティバルも 3 年連続で増加させることができたし、新設される陸上競技場への注目度も高めることが出来た。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。（今後の事業展開、取組の継続に向けた財源確保など）。
引き続き、中信地域にランニング健康文化を向上させていくためにも母体大会の春の松本ランニングフェスティバルの継続、参加者増加を目指す
新設される陸上競技所をベースにミニイベントを開催し、動画配信、紙面・SNS 展開を強化していく。
また、完成後に周回コースも確定するので、距離看板の新制も検討する。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある